



【先週 3月24日～3月30日の外食の出来事】

■ 壱番屋、19年2月期の純利益13%減 人件費増

壱番屋の2019年2月期の連結純利益が前の期比13%減の27億円になったようだ。従来予想を4億円下回る。店舗のほか、カレーソースやトッピングを製造する各工場では人件費が上昇しており、採算が悪化した。

■ 小僧寿し、債務超過に転落して上場廃止の猶与期間入り

小僧寿しは27日、2018年12月期決算で債務超過に転落したため、東京証券取引所が同社を上場廃止の猶与期間入り銘柄に指定した。猶与期間は今年末までですが、増資などで速やかに債務超過を解消したいとしています。

■ 2月の外食売上高、前年比101.9%と30ヶ月連続で前年を上回る

今年の2月は、暖冬傾向で気温が高く、天候が比較的安定していたことも外食需要の下支えとなり、FFを中心に概ね堅調に推移し、全体の売上は101.9%と30ヶ月連続して前年を上回った。

■ 美女軍団で話題となった「フーターズ」倒産。色気は長続きせず。

カジュアルアメリカンダイニング&スポーツバー「HOOTERS フーターズ」を運営する株式会社エッチジェーが、3月25日に東京地裁へ民事再生法の適用を申請した。負債は債権者約56名に対し、約5億6000万円。

■ 外食技能試験、受付初日で定員に。合格外国人は5年間雇用できる。

一般社団法人外国人食品産業技能評価機構(OTAFF)が主催する外食業技能測定試験の第1回が、4月25日(木)に東京・大阪で実施されるが、3月22日から受験受付を始めたが、初日で両会場とも定員に達した。

■ スシロー、セルフレジでスマホ決済サービス「LINE Pay」を導入

あきんどスシローは、「SUSHIRO 大森駅前店」と「SUSHIRO 荻窪店」において、スマホ決済サービス「LINE Pay」を3月27日から先行導入し、4月9日には、約200店舗で対応できるよう順次拡充していくと発表した。

■ 幸楽苑、「焼肉ライク」初の郊外モデル店となる「松戸南花島店」をオープン

幸楽苑ホールディングスは、「焼肉ライク」のフランチャイズ及び初の郊外モデル第1号店となる「焼肉ライク松戸南花島店」を3月29日にオープンする。「松戸南花島店」は、焼肉ライクの店舗としては初のロードサイド店となる。

■ 居酒屋チェーンも月2回休業。モンテローザ、6割の店舗で設定。

白木屋、「魚民」、「笑笑」など全国展開する株式会社モンテローザが、4月以降、約1,000店舗で月2回の休業日を設定する。4月1日から「働き方改革関連法」が施行されることに伴い、従業員の労働時間の短縮を図る。

■ 梅の花、さくら水産を子会社化。牛・豚業態に次いで居酒屋も抱える。

「湯葉と豆腐の店 梅の花」を展開する株式会社梅の花が、「海産物居酒屋さくら水産」などを展開する株式会社テラケンの発行済株式数の58.0%を取得し子会社化することを決めた。